

私たちの食の未来を守るために

日時 2026年1月26日（月）14：00～17：15

場所 岩手大学教育学部1号館 北桐ホール

※オンライン配信（Zoom）あり

プログラム

14:00

開会挨拶

下野 裕之（岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター長）

14:05

シンポジウムの概要説明と学生プロジェクト紹介

伊藤 芳明（岩手大学農学部食料農学科食品健康科学コース 教授）

14:20-15:15

人類はこれからどのような食生活をしていくべきかーAI/DX Nutritionを用いた
未来型食品開発のすすめ

高橋 伸一郎 氏

（東京大学プラネタリーヘルス研究機構 特任教授）

15:15-15:25 休憩

15:25-16:05

アヒル肝臓由来細胞を用いた細胞性食品の生産について

川島 一公 氏（インテグリカルチャー株式会社 取締役CTO）

16:05-16:45

未利用バイオマス×微生物発酵技術により創出されるアップサイクル食品素材

杉本 利和 氏（株式会社ファーマンステーション CTO）

16:45-17:15

議論 ー私たちの食の未来を守るためにー

西向 めぐみ（岩手大学農学部動物科学・水産科学科動物科学コース 教授）

折笠 貴寛（岩手大学農学部地域環境科学科革新農業コース 教授）

人口増加や環境変化の激甚化により、私たちの「食」の未来には多くの不安が存在しています。持続的で健康な食を未来にわたって維持していくためには、安定的な生産・供給体制の構築、環境問題への対応、新たな食品の開発、農業や食品廃棄物の利活用（アップサイクル化）など、さまざまな課題に取り組む必要があります。

本シンポジウムでは、これらの課題とその解決に向けた取り組みについて、教育・研究の視点と企業における実践事例の両面から考察し、食の未来に向けた持続可能な道筋を探っていきます。



講師プロフィール

高橋 伸一郎 氏

東京大学プラネタリーヘルス研究機構特任教授

1987年東京大学で農学博士を取得後、東京農工大学農学部助手。1988年にインスリン様成長因子（IGF）の精製に初めて成功したアメリカ合衆国ノースカロライナ大学医学部で客員研究員。1990年東京大学農学部で助教授として復職後、2018年教授、2025年から東京大学プラネタリーヘルス研究機構特任教授。アミノ酸シグナルやインスリン様シグナルが、動物の一生でどのように調節され生命を維持しているのに関心があり、この活性の調節法の開発とその利用を目指してきた。その研究過程で、仲間とOne Earth Guardians育成プログラムの活動を立ち上げ、現在、ムーンショットプロジェクト目標5のプログラムマネージャーを務める。



川島 一公 氏

インテグリカルチャー株式会社取締役CTO

2012年、広島大学にてPh.D（農学）を取得。Baylor College of Medicineフェロー、JSPS（DC1, PD）フェローを経て、インテグリカルチャーを共同創業。

2018年4月から取締役兼CTOに就任。日本生殖内分泌学会 学術奨励賞など学会賞を複数受賞。



杉本 利和 氏

株式会社ファームステーション CTO

1996年九州大学農学研究科修了後、協和発酵、アサヒグループ各社（アサヒビール、ニッカウエスキ等）にて、発酵工学を基盤とした基礎研究、発酵生産プロセス設計、生産技術開発ならびに新規事業開発に従事。麹菌の新規液体培養技術に関する研究成果により第21回生物工学技術賞を受賞し、2012年に東京大学より博士（農学）を取得。

2022年より株式会社ファームステーションCTOとして、未利用バイオマスを対象とした発酵アップサイクル技術の研究開発および社会実装を主導。発酵産物の高度利用に向けた分析・データ基盤整備、パイロットスケールでの生産技術開発を統括。農林水産省SBIRフェーズ3事業に採択され、循環型食品素材の実装化プロジェクトをリードしている。



お申込み方法 <事前申込制>

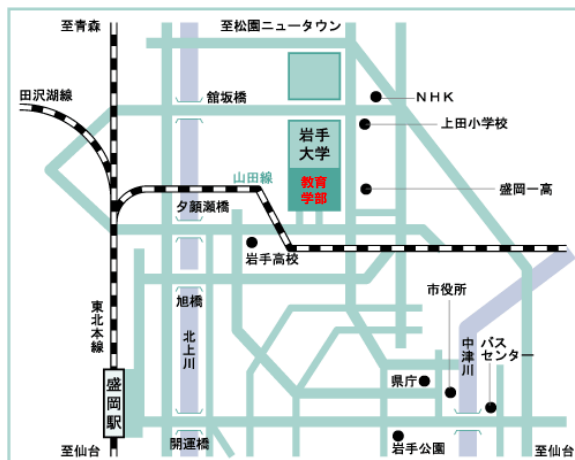
下記URLまたはQRコードから、お申し込みください。
<https://forms.gle/93QCr5Pni4t5C6qa9>

申込締切：2026年1月19日（月）

- ・フォームでの申込後、自動返信のメールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ドメイン指定受信で、@iwate-u.ac.jp（岩手大学ドメイン）を許可してください。（高校等から付与されるメールアドレスは制限されていることがあります）



<会場案内>



問い合わせ

岩手大学 次世代アグリイノベーション研究センター(AIC) 事務局

(岩手大学 研究・地域連携課内)

aic@iwate-u.ac.jp